2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　株式会社インターメスティック　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　262A　　URL　https://www.zoff.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　上野　博史
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員CFO　　（氏名）　里見　亮陛　　(TEL) 03(5468)8650

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　(アナリスト・機関投資家向け)

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	65,343	70.5	7,074	13.7	6,775	8.7	4,190	△1.3
2025年12月期第３四半期	38,325	14.0	6,221	14.6	6,233	16.1	4,248	13.8

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　4,153百万円（ △2.8%）2025年12月期第３四半期　4,271百万円（ 15.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	136.82	133.70
2025年12月期第３四半期	138.82	134.62

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	65,709	28,859	43.9
2025年12月期	65,668	25,966	39.5

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　28,859百万円　　2025年12月期　25,966百万円

（注）第１四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	44.00	44.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期(予想)				51.00	51.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,800	71.1	7,502	25.2	7,100	18.7	4,752	15.4	155.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

「１株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年12月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規 １社 （社名） ZOFF I SINGAPORE PTE.LTD. 、除外 ー社 （社名） ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　詳細につきましては、添付資料８ページ「２.四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	30,679,300株	2025年12月期	30,600,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	ー株	2025年12月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	30,630,162株	2025年12月期３Ｑ	30,600,000株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。個人消費には持ち直しの動きがみられたものの、物価上昇の継続により消費者の節約志向は根強く、購買姿勢には慎重さがみられました。世界経済においては、地域によって景気動向にばらつきがみられるものの、全体としては緩やかな持ち直しが続きました。一方、中東情勢の長期化に伴うエネルギー価格の上昇や、米国の通商政策を巡る不確実性に加え、各国の金融政策の動向や為替及び金融資本市場の変動も懸念されており、国内外の経済情勢の先行きは依然として予断を許さない状況にあります。

このような経済環境の中、当社グループはビジョンとして“Eye Performance”を掲げ、視力矯正器具に留まらず、メガネをファッションアイテムとして、さらには人間の可能性を拡張するツールとして、新しい価値を提示し、社会や暮らしに必要とされるブランドを目指し、取り組みを進めてまいりました。

当第３四半期連結累計期間における店舗数は、国内ではZoff事業351店舗、メガネスーパー事業302店舗、海外19店舗(香港 フランチャイズ16店舗、シンガポール 直営３店舗)となりました。

なお、前連結会計年度末をみなし取得日として株式を取得したHorus HD株式会社及びHorus株式会社並びにHorus株式会社の子会社４社の業績を当第３四半期連結累計期間より連結業績に含めており、国内事業の業績に貢献しております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は65,343百万円(前年同期比70.5%増)、営業利益は7,074百万円(前年同期比13.7%増)、経常利益は6,775百万円(前年同期比8.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,190百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

セグメント別業績の概要は、次のとおりです。

〈国内事業〉

国内Zoff事業においては、「MLB」人気球団とのコラボレーション商品や「UNITED ARROWS」との2026秋冬コレクションなど、多様な顧客ニーズに対応したコラボレーション商品を展開し、商品ラインアップの拡充に取り組みました。あわせて、アイドルグループSnow Manの目黒蓮を起用したTVCM「Zoff meets 目黒蓮 SUNCUTGlasses2026」篇を７月より放映するなど、マーケティング面でも需要の喚起に努めました。

一方、当第３四半期連結累計期間においては、関東を中心とした記録的な日照不足や大雨などの天候不順の影響を受け、厳しい事業環境となりました。こうした環境下においても、調光レンズの販売は好調に推移しており、高付加価値商品の販売強化に向けた取り組みは着実に進展しております。

メガネスーパー事業においては、サングラスの品揃え拡充を行ったほか、AIグラス「Ray-Ban Meta」の取り扱いを開始し、取扱店舗を拡大しました。また、小児の近視用メガネレンズの取扱店舗を拡大するなど、単なる視力矯正にとどまらない新たな商品提案と、専門性を生かしたサービスの拡充を進めました。コンタクトレンズにつきましては、主要駅を中心にコンタクトレンズ専門店「メガネスーパーコンタクト」の出店を進めました。

店舗展開につきましては、Zoff事業351店舗(出店20店舗、退店１店舗)、メガネスーパー事業302店舗(出店６店舗、退店３店舗)となりました。

以上の結果、国内事業の業績は、セグメント売上高64,867百万円(前年同期比71.3%増)、セグメント営業利益7,043百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

〈海外事業〉

香港においては、外部環境の変化が続く中、現地の市場特性に応じた商品展開及び店舗運営に努めました。

シンガポールにおいては、フランチャイズから直営へ移行し、当社グループの経営資源及びノウハウを活用した事業運営体制の整備を進めました。あわせて、現地の顧客ニーズを踏まえた商品構成の見直しや、商品施策と連動したマーケティング活動の強化に取り組みました。

店舗展開につきましては、香港16店舗(出店なし、退店１店舗)、シンガポール３店舗(出店なし、退店なし)の合計19店舗となりました。

以上の結果、海外事業の業績は、セグメント売上高689百万円(前年同期比1.9%増)、セグメント営業利益30百万円(前年同期比32.5%減)となりました。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ40百万円増加し65,709百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ875百万円減少し24,176百万円となりました。これは主に前連結会計年度末に計上された売掛債権等の回収により売掛金が368百万円、預け金が651百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ916百万円増加し41,532百万円となりました。これは主に、新規出店や改装に伴い有形固定資産が1,192百万円、投資その他の資産の敷金及び保証金が152百万円増加した一方で、企業結合により発生した無形固定資産の償却が進み、のれんが625百万円、顧客関連資産が209百万円、商標権が178百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比べ2,852百万円減少し36,849百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ11,762百万円減少し22,849百万円となりました。これは主に、銀行借入の返済により短期借入金が12,000百万円減少した一方で、シンジケートローン契約に伴い１年内返済予定の長期借入金が1,715百万円増加したこと、また、社会保険料の支払等により未払金が835百万円、賞与支給により賞与引当金が535百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ8,910百万円増加し14,000百万円となりました。これは主に、シンジケートローン契約に伴い長期借入金が9,080百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末と比べ2,893百万円増加し28,859百万円となりました。

これは主に、配当金の支払により1,346百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益により4,190百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月13日付「2025年12月期　決算短信」にて公表した内容から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,060	9,928
売掛金	3,068	2,700
商品	7,170	7,695
預け金	3,298	2,646
その他	1,530	1,280
貸倒引当金	△76	△75
流動資産合計	25,052	24,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,359	4,151
工具、器具及び備品（純額）	1,733	2,048
リース資産（純額）	675	659
建設仮勘定	29	132
その他（純額）	218	216
有形固定資産合計	6,015	7,207
無形固定資産		
のれん	14,178	13,552
顧客関連資産	4,476	4,266
商標権	7,969	7,791
ソフトウエア	986	1,387
その他	37	1
無形固定資産合計	27,648	26,998
投資その他の資産		
関係会社出資金	27	27
敷金及び保証金	4,803	4,955
繰延税金資産	1,984	2,198
その他	216	224
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	6,952	7,326
固定資産合計	40,616	41,532
資産合計	65,668	65,709

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,047	3,256
短期借入金	18,000	6,000
リース債務	272	267
１年内返済予定の長期借入金	－	1,715
未払金	4,693	3,858
未払費用	336	402
未払法人税等	1,731	1,579
賞与引当金	1,971	1,435
契約負債	3,676	3,252
預り金	157	353
その他	724	727
流動負債合計	34,612	22,849
固定負債		
長期借入金	－	9,080
リース債務	599	552
退職給付に係る負債	1,503	1,527
繰延税金負債	2,716	2,583
預り保証金	109	85
その他	161	172
固定負債合計	5,090	14,000
負債合計	39,702	36,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	220	246
資本剰余金	10,240	10,266
利益剰余金	15,368	18,246
株主資本合計	25,828	28,759
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	8	△14
為替換算調整勘定	129	114
その他の包括利益累計額合計	137	100
純資産合計	25,966	28,859
負債純資産合計	65,668	65,709

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	38,325	65,343
売上原価	8,913	19,217
売上総利益	29,412	46,126
販売費及び一般管理費	23,191	39,051
営業利益	6,221	7,074
営業外収益		
受取利息	19	26
為替差益	0	8
その他	4	14
営業外収益合計	24	49
営業外費用		
支払利息	11	228
支払手数料	－	91
その他	0	29
営業外費用合計	11	349
経常利益	6,233	6,775
特別利益		
固定資産売却益	2	3
負ののれん発生益	－	17
債務免除益	－	20
その他	－	4
特別利益合計	2	46
特別損失		
固定資産除却損	67	149
減損損失	－	5
その他	3	3
特別損失合計	71	158
税金等調整前四半期純利益	6,164	6,664
法人税、住民税及び事業税	2,063	2,810
法人税等調整額	△146	△336
法人税等合計	1,916	2,473
四半期純利益	4,248	4,190
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,248	4,190

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	4,248	4,190
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	7	△22
為替換算調整勘定	16	△15
その他の包括利益合計	23	△37
四半期包括利益	4,271	4,153
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,271	4,153

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,649	676	38,325	－	38,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	222	－	222	△222	－
計	37,872	676	38,548	△222	38,325
セグメント利益	6,174	45	6,220	0	6,221

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	64,654	689	65,343	―	65,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	213	―	213	△213	―
計	64,867	689	65,556	△213	65,343
セグメント利益	7,043	30	7,074	0	7,074

(注) １．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの資産に関する情報

中間連結会計期間において、ZOFF I SINGAPORE PTE.LTD.の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間末の報告セグメント資産の金額は、「海外事業」のセグメントにおいて128百万円増加しております。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前連結会計年度において、Horus HD株式会社及びHorus株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、暫定的な会計処理を行っておりましたが、第１四半期連結会計期間に確定しております。これにより、「国内事業」セグメントにおいて、前連結会計年度での暫定的に算定されたのれんの金額23,865百万円は、会計処理の確定により9,687百万円減少し、14,178百万円となっております。

(重要な負ののれん発生益)

中間連結会計期間において、ZOFF I SINGAPORE PTE.LTD.の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、「海外事業」のセグメントにおいて、17百万円の負ののれん発生益を特別利益に計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益は特別利益であるため、セグメント利益には含めておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	752百万円	1,767百万円
のれんの償却額	－百万円	625百万円